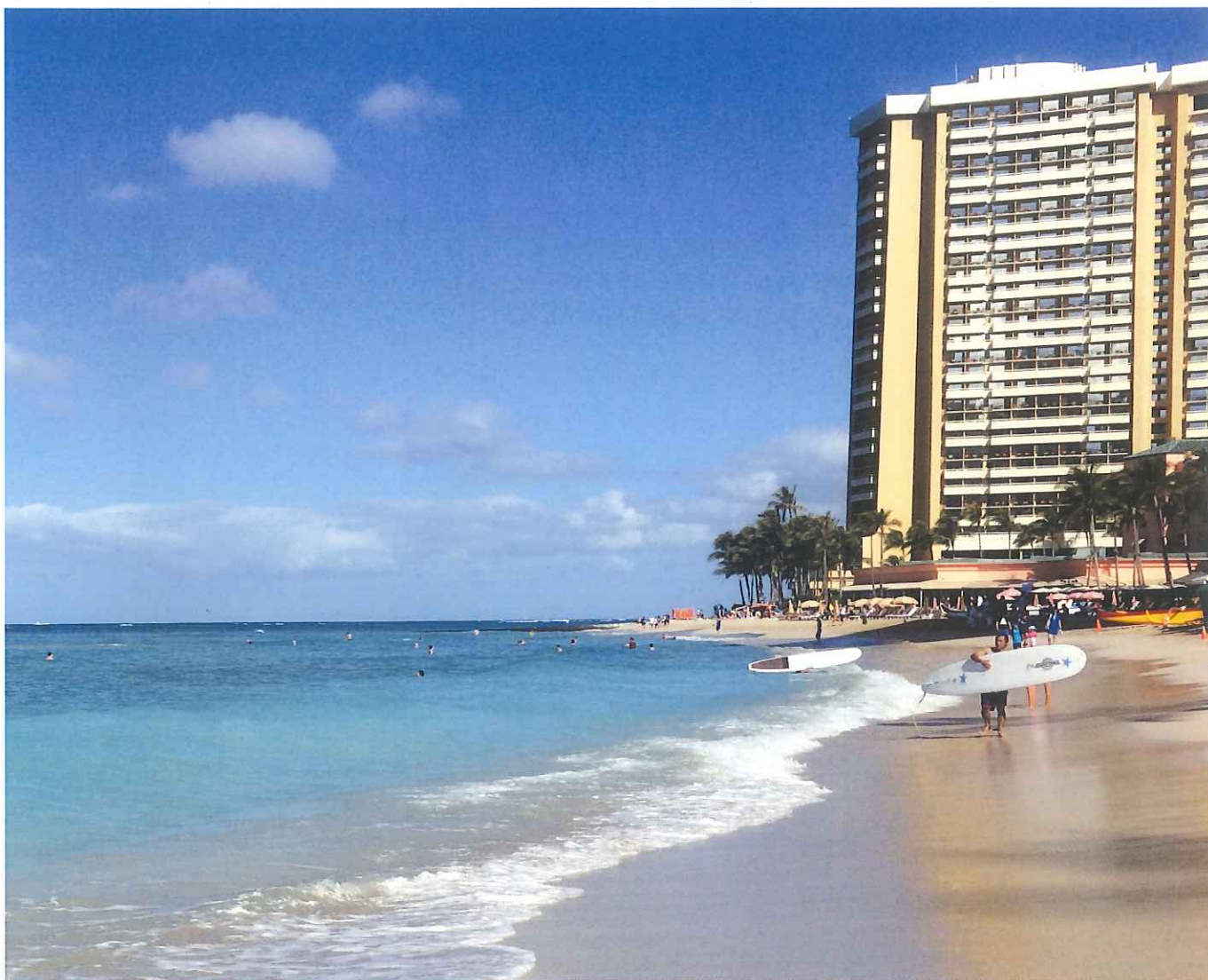




# くまがわ



ハワイ ワイキキビーチ  
(職員旅行にて)  
撮影 村山慎吾

## Contents

- 2P 親離れ、子離れ
- 3P 5病棟紹介、新人紹介
- 4P イベント紹介
  - 室内レクリエーション大会!
  - くませいフェスタ
  - 納涼祭
- 5P 八代第三中学校職場体験学習
- 6P 職員旅行
- 7P 防災訓練
  - OT実習
  - お知らせコーナー

## 理念

地域社会に信頼される精神科医療をめざし、患者様に安全で安心される質の高いあたたかさとお癒しの医療を提供します。

## 基本方針

1. 満足していただける医療を行います。
2. 快適な院内環境に努めます。
3. 専門知識の向上に努めます。

## 患者様の権利

1. 個人として、その人権を尊重される権利
2. 自分の受けている治療について知る権利
3. 良質の医療を受け、選べる権利
4. 公平で差別されない医療、及び、対応を受ける権利
5. 安心、安全な環境で治療を受ける権利

## 親離れ、子離れ

医師 おおりのうじ 押領司 ともかず 友和

「きょうママンが死んだ。」あまりにも有名な小説『異邦人』の冒頭である。

病は突然にその身にふりかかり、本人と家族は茫然とその現実を強要される。私の母を奪ったのは大腸癌であった。主治医からCTを見せられたとき、残された時間があまりにも僅かであることを悟った。

家族が余命幾ばくもない病に侵されたとき、それを本人に伝えるかどうか、臨床の現場では非常にナーバスで難しい問題である。自分の病気のことは知りたいが、家族の病気については本人に伝えないでほしいというのが、様々な調査で日本人に特有の傾向である。病に苦しむ家族の精神状態を慮る日本人らしい気質だと考えていた。当事者となった私は、母に現実を告げることを迷わなかった。幼い私に母は現実の厳しさを出来るだけ伝えようとしていたし、そのせいもあって私は他の子達より生意気に育った。「私は自分のことは知りたいから、包み隠さずに教えてほしい。」そんなことを母が言っていた記憶が確かにあった。だからたとえ辛くともありのままを伝えることが、母に対する最後の親孝行だと思ったが、果たしてそれが正しかったのかは、私がまさに死に直面するその時になるまで分からないであろう。

「葬式はあげないで、お坊さんも呼ばないで。」弱っていく姿、痩せ細っていく姿を誰にも見せたくなかったのだろう。母は自分の兄弟に生前の別れをする事も拒んだ。『人は何のために生まれてくるのか』誰もが一度は立ち止まる難問である。そしてすべてが正解という珍しい問題でもある。どんなに拒んでも、死はすべてに平等に訪れる。死の数時間前、私は病床の母と「また明日ね。」とハイタッチし病院を出た。医師としてもあまりみることのない潔い最期だった。

「私は製材所の娘だから、山に散骨してほしい。」母はそう言ったが、「おふくろ、山は法律的に厳しいよ。海なら大丈夫みたいだけど。」と私が言うと、「それじゃ海に撒いてね。」そんな会話を病床でしたが、不惑の息子はまだ親離れができないでいる。



## 5病棟紹介

5病棟は認知症治療病棟です。

認知症治療病棟とは、急性期の集中的な治療を必要とする精神症状が伴う認知症状の方を対象とする病棟です。

入院時から診療計画に基づき、医師、看護師、作業療法士と協働し、ご家族を交え合同カンファレンスを開催しています。ご家族の意向を踏まえ、また患者様のQOLを考慮した退院支援を行っています。

病棟では、患者様に対して日常生活の援助を行っています。

特に認知症特有の摂食嚥下障害に対して、配膳方法や食器の工夫や環境の調整を医師や栄養士と連携を図り患者様の症状に応じたケアを行っています。また作業療法士により、午前と午後2時間の日常生活機能回復訓練を実施しています。

院内では月に1回、宮本理事長を講師として認知症勉強会を開催しています。四大認知症（アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、脳血管性認知症）についての学習会や事例検討会を行い、認知症のタイプ別に応じた治療や看護が提供出来るように努めています。



## 5病棟新人紹介



おがわ ゆういちろう  
看護補助 小川雄一郎

5病棟で看護補助をしている小川雄一郎です。将来の看護師を目指し、日々頑張っています。よろしくお願いいたします。



みずた とよひこ  
看護補助 水田豊彦

看護学校に通いながら5病棟でお世話になっています。学校でも5病棟でも勉強を頑張っていきます。



ほしこ たかよし  
准看護師 星子貴愛

4月から働かせていただいています。患者様から信頼される看護師になれるよう頑張っていきます。

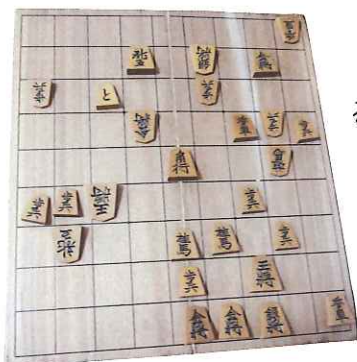
## ■ イベント紹介

### ● 観戦じゃ物足りない! 大盛り上がり室内レ クレーション大会

平成26年7月15日～16日

毎年恒例となってきました室内レクレーション大会が今年も行われました。

いくつかの種目に分かれ、競い合うのですが、毎年おなじみの麻雀、将棋、オセロ、花札に加え、今年は新たにかかるたも競技に加わりました。麻雀、将棋は毎年人気があり、参加者の皆様も真剣そのもの。花札、オセロ参加者は真剣さの中にも和やかに会話や交流を楽しむ様子が見られていました。かるたは今年初めてということで、参加者が少なかったですが、盛り上がり、これから流行する予感を感じさせていました。参加された皆様、普段交流のない患者様同士でもあるため、競技を通し盛り上がり、親睦を深められ、楽しそうに過ごされていました。



「また来年もしたい」  
「次は負けない、優勝する」といきいきとした皆さんの声も聞こえていました。



### ● くませいフェスタ 今年も総合優勝♪

平成26年  
6月5日

パークドーム熊本で開催された「第12回くませいフェスタ」に参加してきました。

熊本県下の精神科病院を5つのブロックに分けて行われる親善レクレーションで、今年も総勢1500人程の参加人数でした。当院は黄色ブロックで8つの病院の患者様、スタッフがー丸になり地域を超え親睦を深め合いながら、みんな一生懸命に頑張った結果、前年に引き続き見事総合優勝することが出来ました。

今年もくまモンが来場し「くまモンサプライズ」を披露してくれました。一番盛り上がったのは最後の職員リレーで、熱気あふれる応援でみなさんいい笑顔になっていました。



### ● 真夏の夜に

平成26年8月12日



今年も病院中庭にて納涼盆踊りが開催されました。今年のプログラムは各病棟より選抜された患者様によるカラオケ大会、スタッフバンド、フラダンス、DCメンバーによる演奏、ボランティアの方によるマジックショーと様々な演目がありました。マジックショーでは会場中に驚きと歓声が聞かれ、生で見るマジックショーに大盛り上がりでした。

すべての演目が終了後には患者様、スタッフ入り混じっての盆踊りで締めくくりました。今年も猛暑が続きましたが、この日だけは暑さを忘れた一日になったと思います。

## 八代第三中学校 職場体験学習

平成26年7月9日～11日  
1病棟 准看護師 柳田国男

今回「食事介助」「車椅子へ移乗・移送」「血圧測定」「コミュニケーション」について話をさせて頂きました。私も学生も初めは緊張していましたが、演習に取り組むうちにだんだん笑顔がみられ「楽しかった」という感想も聞くことが出来ました。

講義を担当する事は初めてでしたが、学生の熱心に話を聞く姿にやりがいを感じるとともに教える難しさも知ることが出来、とても貴重な体験になりました。

### 職場体験の感想

2年1組 島田怜奈

この職場体験で学んだことは、それぞれの職業の役割、患者さんとのコミュニケーションの取り方についてです。

1日目で特に良かったことは、薬剤師の体験ができたことです。体験では乳糖の分量をはかり、機械に入れて粉薬のように袋に入った状態の乳糖を作りました。2日目は看護体験で、車イスでの移動、血圧測定、食事の介護をしました。実際の患者さんだととても大変だと思いました。3日目はOT活動、デイケアをしました。この3日間を通して、精神科のイメージがとても変わり、色々なことを学ぶことができました。私は、人とコミュニケーションを取ることが苦手ですが苦手を克服して勉強に励み職場体験で学んだことを普段の生活に活かしていきたいと思います。

2年3組 小島莉乃

1日目は初日ということもあり、少し緊張していましたが、患者様やメンバーさんとかかわっていくうちに緊張もなくなりもう少しここで勉強したいという気持ちになりました。私が学んだことは、さまざまな職種の方がいて病院が成り立っているということです。私は最初医師になりたいと言っていたのですが、看護師や精神保健福祉士などの話を聞いているうちにそれぞれの仕事に興味を持ち「もっと勉強しないと!」という気持ちになりました。またコミュニケーションや言葉のかけ方など日頃の生活に活かしていき、勉強と部活の両立をし頑張っていきたいと思います。



2年4組 植原優貴

今回の職場体験では、色々な貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。体験の中では、看護体験の食事介助や車椅子介助、血圧測定などが特に心に残っています。また、それらの体験から学んだこともいくつかあります。患者様に優しく声をかけている病院の方々がいる所を見ると病院の方々が協力して支えているからこそ、患者様がちゃんとした生活を送ることができているのだと思うと同時に、人を支えることは大切だと思いました。そして、体験以外でも各役職の仕事の中でも学んだ所はあります。普段は患者様に会わないような仕事でも一生懸命に働いていらっしゃるのを見て表に出る仕事ではないけど人の役に立つために働く人がいるのだなと思いました。これらの学びを今後の生活につなげていきます。



## 職員旅行 憧れのハワイ航路

平成26年5月18日～22日  
事務 宮崎望美



海外の職員旅行。今年は病院創立55周年を記念してハワイに決定!!  
初めてハワイに行かれる方も多かったと思います。5月、6月、10月の3班に分かれてのスケジュールで、第1班の私達はハワイに行くまでにみんなでいかに楽しく思い出に残る旅行になるか、胸を躍らせながらプランを考え、練り上げてさあLet'sハワイへ♪

飛行機を降りてから、もうそこは夢の世界♪  
カメハメハ大王やワイキキビーチ、ダイヤモンドヘッドや雄大な夜景のパノラマ。どこに行っても最高でした。

食事でもアメリカンサイズで、ステーキやシュリンプ、飲み物片手に「カンパニー!!!」話題のパンケーキにアサイーボウル。どれもとてもおいしかったです。

雄大な自然や魅力的な街並みに触れることができ、ハワイの歴史や文化を学び、それぞれに最高の思い出を作ることが出来ました。

日本に帰ってからも「アロハ」や「マハロー」などの言葉がいきかい、またすぐにもハワイへ行きたくなるそんな旅行になりました。

### 《栄養科》ロコモコは ハワイ料理のひとつです。

白飯の上にハンバーグと目玉焼きを乗せ、グレービーソースをかけたものが基本となります。ハワイ以外の地ではほとんど知られていなかったもののファミリーレストランなどのメニューに加わることで日本でも知名度が上がってきています。

当院でもハワイ料理を味わっていただきたいと思い、メニューに入れ提供いたしました。



## 防災訓練

平成26年6月27日



今回の防災訓練は、5病棟2階を出火元と想定し、夜間体制での実施でした。

役割分担により火災発見・消防通報・非常管内放送・避難誘導にあたり初期消火・屋内消火栓の通常防災訓練を行いました。

患者様の誘導もスムーズに行え、火災発見から全員の避難確認まで5分06秒と、雨の中食堂への避難となりましたが、この結果は今後の経験として患者様の安心安全な環境造りに取り組んで参ります。



## OT実習生より～実習を終えて～

熊本保健科学大学 富田 悠貴

【平成26年5月12日～7月4日】

優しく指導して下さる皆様方のお陰でリスク管理やコミュニケーションなど精神科作業療法についての理解を深めることができました。これからも実習で学んだ経験を活かし、憧れの作業療法士となれるよう勉強を頑張りたいと思います。

病院スタッフの皆様や患者様に支えられ、楽しく充実した実習を送ることができたことに感謝致します。

小倉リハビリテーション学院 片山 和美

【平成26年6月23日～8月22日】

今回の二ヶ月の長期実習でOT活動を通して様々な患者様と関わらせていただき、学びが得られました。

また、OT活動以外でも、デイケア見学や若竹会・あいの会など、学校では学べないような事も経験する事ができました。

二ヶ月間本当にありがとうございました。

## お知らせ 第16回八代更生病院ふれあい祭りのご案内

今年もたくさんのイベント、露店、豪華賞品が当たる抽選会と盛りだくさんの内容で皆様のご来場をお待ちしております。

日時：平成26年10月18日(土) 10時開会

会場：八代更生病院 中庭 体育館

お問い合わせ

⇒ふれあい祭り副実行委員長 立木まで

## 外来診療 ご案内

※精神科医が  
担当します。

		月	火	水	木	金	土
午前	新来	○	○	○	○	○	
	再来	○	○	○	○	○	○
午後		予約外来					休診

## 診療 科目

精神科、心療内科、内科

## 受付 時間

新来 ▶ 午前 8:30～11:30(月～金)

再来 ▶ 午前 8:30～12:00(月～土)

午後13:30～16:00(月～金)

新来は**予約制**で月～金曜日の午前中のみとなります。

## 交通の ご案内



鹿兒島線八代駅から車で15分  
産交バス千反町バス停から3分

- JR八代駅から……………車で15分
- バスでお越しの際は八代駅方面から産交バス植柳経由→「南平和町」行き、又は植柳経由→「君ヶ淵」「破木」「坂本駅」行きにお乗りください
- 産交バス「千反町」バス停より徒歩3分
- ゆめバス「迎町交差点」バス停より徒歩3分

## スタッフ募集

現在、医師、薬剤師、看護師、  
准看護師、看護補助を  
募集しています。

### 委細面談

連絡は、事務長 久保、  
または事務次長 嶋田まで、ご連絡ください。



医療法人 山田会

## 八代更生病院

〒866-0043 八代市古城町1705

TEL(0965)33-4205

FAX(0965)35-8275

URL <http://www.y-kousei.jp/>

mail [info@y-kousei.jp](mailto:info@y-kousei.jp)